



蒲郡文化

No.229

蒲郡市栄町 3 番 30 号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

形原神社・春日山の桜守活動

形原中学校前の通りに大きな石の鳥居があります。この鳥居が形原神社の大鳥居です。

私達が子供の頃、昭和30年代には桜の名所だった形原神社・春日山。山一面に咲き誇る絢爛豪華な桜、エーン曳、打ち上げ花火、屋台、芝居小屋等、ふるさとの心に残る思い出です。形原神社・春日山の桜の原点は昭和2年に植樹された500本の桜です。



この山一面の桜が、いつの間にか雑木の成長に負けて見る影もなくなってしまいました。桜の名所復活を願い、昭和18年19年生まれの同期生「一八九会」が昭和59年3月に厄年記念としてソメイヨシノ100本を植樹。20年育てて還暦を迎え再整備と追加植樹をしました。将来を考えて同期生だけでなく、町内全体に協力を呼び掛けるボランティア団体「春日桜会」を設立したのが平成15年9月です。

名所復活の意思を引き継いだ春日桜会は、形原町内の皆さんに楽しんでもらえるよう遊歩道の整備、東屋の建設、古桜の樹勢回復、桜園地の拡大、新たな植樹等々、活動を進めました。



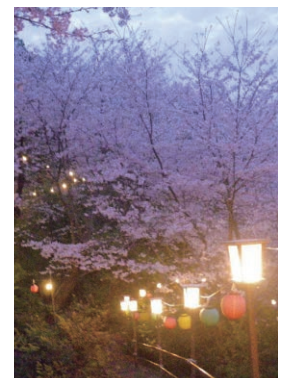
地元形原中学校生徒の作業応援を得ながら、形原町総代会、町内の意見を伺い活動を継続してきました。おかげさまで、形原町内に広くご理解ご協力をいただき、今年令和5年には20回目の桜まつりを開催できました。

春日山の特長は三河湾を望む景色の良さと桜の種類が多さです。早咲き、遅咲き、秋に咲く桜、色

も大きさも色々な桜が楽しめます。3月上旬に満開になる河津桜から4月下旬のウコン桜まで2カ月間、順番に咲き続き、秋には四季桜、アーコレード、冬桜が咲きます。

桜以外にアジサイ、クチナシ、ツバキ等もあり年間通して楽しめます。草花の変わり種にはウラシマソウも咲きます。

桜と言えばソメイヨシノが代表ですが、ソメイヨシノは病気に弱く寿命が50-60年といわれています。最近ソメイヨシノに変わる桜として勧められるのが神代曙です。春日山でも山頂に植樹して13年、良い桜に育ちました。TVドラマ「ウツボラ」が放映され、その中で見事な桜が紹介されました。神代曙はソメイヨシノより開花が少し早く3月末が見頃です。



青森の弘前公園を手本にした桜の剪定育成作業を取り入れています。桜切るバカ、梅切らぬバカと言われますが、剪定作業によって桜の活性化と延命、より楽しめる樹形作りにも努めています。

剪定した桜枝を活用する「春をとどけ隊」活動は、通常4月5日ごろに満開のソメイヨシノの開花時期を加温管理して1ヶ月早く、3月初めに咲かせます。作業応援いただいている形中生徒の卒業式を満開の桜で祝います。蕾の桜枝を3月1日から形原神社にて町内の皆さんにもプレゼントします。皆さんには自宅で開花させ楽しんでいただいています。

草刈り、清掃活動など桜の時期だけでなく、一年中桜守の仕事があります。会員の高齢化が進み厳しい環境ですが、復活した春日山の桜を末永く守りたい。世代をつなぐ桜の森づくりを目指しています。皆さんの応援をお待ちしています。

文 春日桜会・広報担当

令和5年度 文協被表彰者紹介

4月22日の総会において4名の方が、表彰されました。

《文化賞》

佐野 哲子【邦楽部会】

【略歴】

'95年 文協入会
'15～'16年 部会長
'17～'22年 文協副会長



《功労賞》

小田 洋美【箏曲部会】

【略歴】

'87年 文協入会
'95～'00年 常任理事
'17～現在 理事



《功労賞》

浅井 慧雲【華道部会】

【略歴】

'97年 文協入会
'15～'18年 理事
'19～現在 運営委員



《功労賞》

三喜 藤菊【舞踊部会】

【略歴】

'77年 三喜流師範
'78年 文協入会
'10～現在 運営委員



令和5年度総会



4月22日(土)午後1時30分より東ホールにて開催され、今年度は会長と副会長2名が新しく選任されました。また3年ぶりに来賓の方への抹茶の接待と、吟剣詩舞によるアトラクションも復活し、コロナ明けを感じさせる総会となりました。



写真左 上から
鈴木市長 今枝衆議院議員 喚田県議会議員

アトラクション



剣詩舞



合吟

令和4年度事業報告および収支決算

- 春の文協まつり：期間4月29日～5月29日、部会行事開催延日数19日、協賛行事1日、参加者949名
 ○市民文化祭：期間11月3日～11月23日、部会行事開催延日数31日、参加者1,404名
 ○文化財めぐり：11月16日 滋賀県「徳川家ゆかりの「水口城跡」～臨済宗永源寺を訪ねる」参加者59名、バス2台
 ○歌・句集「楠若葉41」令和4年度版、11月1日発行 短歌53名、俳句99名、川柳12名寄稿
 ○文協講座：6講座、開催延日数17日、受講者63名
 ○機関紙発行：蒲郡文化224号から227号まで4回発行
 ○市民病院ギャラリー展示：9月は短歌、絵画、俳句部会、3月は水墨画部会が掛替を実施
 ○市民会館ギャラリー展示：絵画・俳句部会（7月度）、短歌・俳句部会（9月度）、水墨画部会（11月度）、県文連美術展入賞作品（3月度）
 ○文化事業：2月19日「小和田哲男講演会 今川氏から自立する徳川家康—どうする蒲郡—」市民会館大ホール 入場者956人
 ○月例茶会：3回中止（4, 6, 9月）、7月、10月は中会議室、12月からは三興庵で開催
 ○総会4月23日出席会員90名。役員会4回、運営委員会3回、役員・運営委員合同会1回、編集委員会・ポスター委員会・特別委員会等必要に応じ随時開催

【収 入 の 部】			【支 出 の 部】		
項 目	収入額（円）	説 明	項 目	支出額（円）	説 明
繰 入 金	285,513	前年度繰越金、積立金	会 議 費	156,800	総会費
会 費	1,886,900	正会員 1,000円×1,135名 18歳未満 300円×123名 特別会員 5,000円×143名	事 務 費	1,987,514	事務局費、旅費、通信連絡費、慶弔費
事 業 収 入	1,502,500	講座・文化財めぐり参加費、楠若葉投稿料、県美術展出品料、文化事業入場料	事 業 費	3,736,960	機関紙発行、文協まつり、文協講座、市民文化祭、県文連事業、文化事業、文化交流等
補 助 金	1,100,000	蒲郡市	予 備 費	0	
負 担 金	1,500,000	市民文化祭	積 立 金	340,000	職員退職金、文化事業
雑 収 入	61,307	利息、コピー代等	繰 越 金	114,946	次年度へ繰越金
収 入 合 計	6,336,220		支 出 合 計	6,336,220	

令和5年度事業計画および収支予算

- 総会 ○春の文協まつり ○月例茶会 ○文協講座 ○市民文化祭 ○文化事業
 ○機関紙「蒲郡文化」4回発行 ○市民病院ギャラリー展示入替 ○市民会館ギャラリー展示

【収 入 の 部】			【支 出 の 部】		
項 目	収入額（円）	説 明	項 目	支出額（円）	説 明
繰 入 金	704,946	前年度繰越金、積立金	会 議 費	125,000	総会費、その他会議費
会 費	1,960,000	正会員 1,000円×1,140名 18歳未満 300円×100名 特別会員 5,000円×158名	事 務 費	2,395,000	事務局費、旅費、通信連絡費、慶弔費
事 業 収 入	1,860,000	講座・文化財めぐり参加費、楠若葉投稿料、県美術展出品料、文化事業入場料等	事 業 費	4,840,000	機関紙発行、文協まつり、文協講座、市民文化祭、県文連事業、文化事業等
補 助 金	1,360,000	蒲郡市	予 備 費	40,000	
負 担 金	1,500,000	市民文化祭	積 立 金	40,000	職員退職金
雑 収 入	55,054	利息、コピー等			
収 入 合 計	7,440,000		支 出 合 計	7,440,000	

安楽寺の山門

清田町の安楽寺は、平成27年（2015）午前10時19分に寺裏の枯草より燃え風速8mの北北西の風にあおられ本堂、庫裡、書院、釈迦堂などを焼失した。

山門と惣門と本堂から持ち出した木造大黒天立像、阿弥陀如来像、勢至菩薩像、観音菩薩像は火災から免れた。

安楽寺の山門は、昭和57年（1982）10月22日に市指定有形文化財になった。境内の立札に次のよう解説されている。

この山門は、宝暦2年（1752）に造営され、その規模は間口9,05[㍎]、奥行5,36[㍎]、高さ13,75[㍎]を誇る市内木造建築物として最大級の山門である。

円柱に加工された柱は12本で、ケヤキ材を使用している入母屋造り3間1戸2重門の棧瓦葺で、門の左右に階段を設け階上には、廻り縁があり16羅漢が安置されている。

下層は、柱が円柱粽付きで石製の礎盤上にのり、組みものは、斗拱禅宗様二手先で、頭貫は、木鼻を突き出させ唐草文の装飾がある。

また、上層は、柱が円柱粽付きで、頭貫と台輪をめぐらし、組ものは、斗拱禅宗様三千先の詰め組みである。

全体に、荘厳で落ち着いた印象を与え市内古建築である。県内に重層門は少なく希少価値が高い。山門は、昭和61年（1986）9月から1年3ヶ月掛けて修復している。総費用は1億6300万円であった。

安楽寺は、応永15年（1408）昭邦淳観上人

により開山する。寺の正式寺号は「楠林山和合院安楽寺」という。宗派は、浄土宗西山深草派。総本山は京都の誓願寺である。現在は、35代祥空明裕師である。境内1952坪、付属地5505坪、檀信徒約1250戸である。

この寺の大黒天像は、昭和32年1月10日市指定文化財になっている。特徴は、1本造りで素朴な平服姿で、右手に槌、左手に袋を担ぐ姿で武士風と言われる。大黒天は頭巾を被ったものが多いが、烏帽子風の名残がある。像高39,6cmであり、三河七福神の一つである。



永禄5年（1562）上ノ郷城が落城の後、久松俊勝が軍功により西ノ郡領主となった。家康の生母、於大の方の後添えの夫である。天文16年（1547）久松俊勝と於大の方は再婚し、康元、康俊、定勝などの三男四女をもうけている。上ノ郷城（城主・鶴殿長照）落城後、その戦功のあった久松俊勝が翌年から西ノ郷領主となり、安楽寺の修復に大変に力を注いでいる。

天正15年（1587）久松俊勝は、64歳で亡くなると蒲田市水竹町、崇心寺で火葬し、安楽寺に葬られている。

於大の方は翌年から安楽寺の九代邦山壽慶上人により剃髪して、得度式を行い伝通院の号を授かった。この寺で2年間過ごして俊勝の冥福を祈っている。寺の焼ける前は、二人のお位牌が本堂に安置されていた。於大の方の墓所は、江戸小石川の伝通院にある。

文・写真 林 正夫

令和5年・6年度の役員・委員会委員の皆さまです。よろしくお願いします。

委員	ポストー	西浦ちえ子	横田 英夫	石川美津江	齋藤とし子	鈴木 康祐	小林 憲三	稲吉 初美	西川 味里	水野 博行	野々山明子	常磐川藤明	吟剣詩舞	舞踊・音楽部門【部会長・運営委員】	杉浦 才	野田 篤史	壁谷 桔華	水 墨 画	伊藤 裕一	美術部門	菊花	水 石	茶 道	華 道	俳 句	短 歌	文芸・教養部門【部会長・運営委員】	事務局長	副会長	副会長	副会長	会 長
		牧原 重夫	杉田 翠風	中村 文子	牧原 克子	佐野 哲子	広浜 洋子	三喜 藤菊	伊藤 直美	仲田 武司	中川たまゑ				近藤佐代子	奥原 哲雄	濱田 櫻秀	佐野 孝子	竹内 律子	【部会長・運営委員】	河井 宏幸	広浜 弘泰	平井 宗昌	浅井 慧雲	三田 土龍	本多 礼子		（舞踊・音楽部門）	（美術部門）	（文芸・教養部門）		

春の文協まつり

芸能発表会 中ホール

5月14日



フラダンス



相撲甚句



雅楽



吟剣詩舞

久しぶりに何の制限もない発表会となりました。

フラダンスのステージで始まり、途中3回ほど換気をおこないながら、最後は舞踊の出演で無事幕を閉じました。

今回も、全演目のビデオ撮りをしましたので、編集など終わり次第YouTubeに上げる予定です。

ぜひ、ご覧ください。



民謡



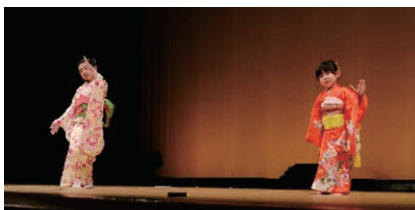
大正琴



舞踊



クラシックバレエ



舞踊



三味線

第三十八回

蒲郡俊成短歌大会

四月二十九日(祝) 中ホール

入選

ぐいぐいと風分けるやうに少年は

本多 礼子

蜜柑畑沿ひを立ち漕ぎに行く

入選

旨さなどわからぬものと思ひつつ

中村 文子

店の西瓜の音を確かむ

奨励賞

神棚に水を供ふるわが習ひ

加藤芙美代

近頃ぐいつと踵あげつつ

杉浦 常子

機織りに日々を追はれし若き日の

夢に目覚めて背に汗にじむ

林 正夫

一歳のわれを残して逝きし母の

その倍生きてわれ卒寿越ゆ

文協会員のみ掲載

(詳細はホームページをご覧ください)

市民会館会場



工芸 出品者 47名
出品点数 62点

ふれあい茶会 大会議室 裏千家

5月14日



書道 出品者 71名
出品点数 98点

三興庵 表千家

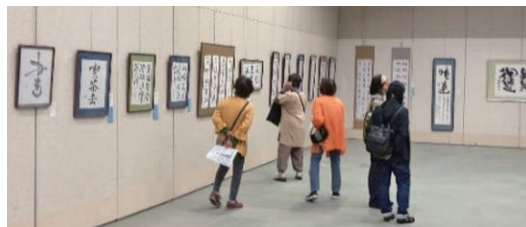
まだまだ心配という事で、茶室
ではなく寄付きで行いました。

春の文協

書道・工芸展 東ホール

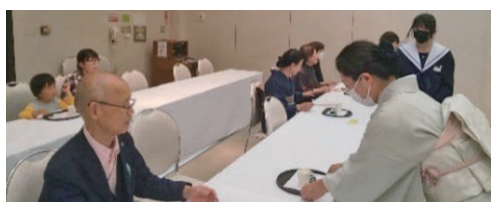
5月12日～14日

3年ぶりに検温、消毒無しで
開催することが出来ました。



華道展 東ホール

5月20日・21日



今回、久しぶりにお
茶席を設け、会場が
和気あいあいとした
雰囲気、多くの人
が作品に見入ってい
ました。

出品者 55名
出品点数 55点

水石展 中会議室

5月20日・21日



出品者 15名
出品点数 26点

令和五年度

春の文協まつり

俳句大会(当日句の部)

五月十四日 大会議室

蒲郡市長賞

網を干す漁師かすめる夏燕

金田 満子

蒲郡市議会議長賞

SLを画く子にかざす白日傘

牧原 克子

蒲郡市教育委員会賞

風光る水切り石の放物線

内田 陽子

蒲郡市文化協会賞

折鶴に緑雨染みおり慰霊の日

大場 安子

佳作

色褪せし妣の手縫いの夏布団

金田 満子

麦笛を吹く婆ちゃんの太き指

三田 土龍

丁寧な吹く子の大きシャボン玉

小田 智子

まだ角の生えぬ仔山羊や風五月

小田 三枝

まつり

博物館ギャラリー会場



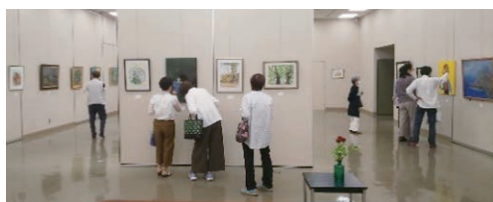
水墨画展

5月12日～14日

出品者 32名
出品点数 52点

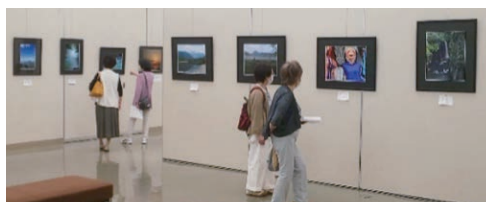


体験コーナーでは、35人の方が指導を受けながら楽しく描いていました。



左 絵画
出品者 32名
出品点数 52点

右 写真
出品者 39名
出品点数 56点



絵画展

5月19日～21日

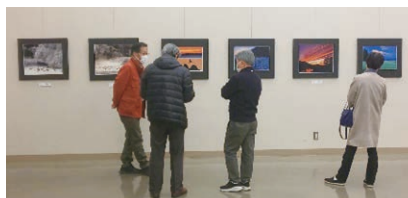
写真展

5月26日～28日

● ● ● 会 員 ピ ア ザ ● ● ●

写真集団「雲」作品展

3月1日～5日博物館ギャラリーで行われた。
17名の会員が46点出品



植樹祭記念イベント

4月29日愛知県森林公園で行われた。コカリナアンサンブルドルフィンのメンバーが参加



さざなみ会・JAレディース発表会

3月19日 生きがいセンターで6グループの会員たちの大正琴の練習の成果を発表された。



退任にあたって

前会長 中村 達

令和元年4月、会長に就任して一年も経たないうち、新型コロナウイルスのパンデミックが起ってしまった。厳しい制限のなか、会員の皆様にご苦勞やご心配をお掛けしてしまいました。この間、展示・発表会・文化事業が中止や延期になったこと、50周年の記念事業が、完全な形で出来なかったことが心残りです。

しかしコロナ禍によって、私たちは文化芸術の必要性を、改めて認識したことは重要であったと思います。

また、会員の減少を何とか食い止めようと、色々考えましたが道半ばです。新しいグループを迎えることも必要になるでしょう。

これからも蒲郡の文化の中心として、魅力のある文化協会になって頂きたいと願っています。

新任の挨拶

副会長 新井 信行

この度 舞踊・音楽部門の副会長を受ける事になりました。

今の世の中いろいろ複雑な時代ですが、好きな部門の技術を深めながら、皆様と共に文協活動を楽しんで行きたいと思います。

ご指導とご協力をお願い致します。

新任の挨拶

副会長 高橋 信夫

副会長の任に就く仕儀となり、文化協会全体の会員数減少や高齢化対応をはじめ、数々の課題が山積していると実感したところです。

今こそ会員相互の支え合いが大変重要なのではないかと考えます。

微力ながら、文化協会活動活性化目指してお手伝いさせていただきますので、ぜひご協力をお願い致します。

お知らせ

文化財めぐり参加者募集 11月15日(水)

【行 先】 静岡徳川ゆかりの駿府城、浅間神社、岡部宿で検討中

【参 加 費】 9,500円の予定
(拝観料・昼食代含む)

【締 切】 10月27日(金)
直接文協事務局へ、又は往復はがきにて
参加費は後日納入

歌・句 集「楠若葉42」投稿募集

【投稿規定】 1人5首または5句

【投 稿 料】 500円(1冊配本)

【締 切】 7月26日(水)
投稿料(500円)を添えて文協事務局へ

市民文化祭 短歌・俳句・川柳募集

【投稿規程】 短歌 未発表近詠 1首
俳句 未発表当季雑詠 2句
川柳 未発表当季雑詠 2句

- ・投稿料 無料
- ・応募はがきまたは官製はがきに作品、住所、氏名、電話番号を明記のこと
- ・市内在住・在勤、歌会・句会在籍者、または文協会員であること

【募集期間】 令和5年10月4日(水) 必着

※申し込みはいつでも文協事務局
〒443-0035 蒲郡市栄町3-30
蒲郡市文化協会
電話・FAX 68-5509

市民会館の催し物 (問合せ TEL68-5509)

天生流いけ花展	9月23日(土)・9月24日(日)
月例茶会 席主：板倉 宗真(表千家)	9月24日(日)
月例茶会 席主：鈴木 宗和(裏千家)	10月15日(日)
図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706) 特別図書整理休館9月24日(日)～9月30日(土)	
夏休み 昆虫大集合	開催中～8月27日(日)
じどうしつdeブックトーク読書感想文におすすめの本 紹介します!!	7月25日 小学5,6年生 7月26日 小学3,4年生 7月27日 小学1,2年生 各回午後2時～30分程度
読書感想文お助けルーム(小学校高学年～高校生)	7月27日(木) 午後3時30分～5時30分 7月29日(土) 午後2時～4時
交通安全ポスター展	9月 9日(土)～9月22日(金)
第46回 図書館文学講座 講師：笹 公人(歌人)	9月23日(土・祝)午後1時30分～3時 市民会館 大会議室
和紙ちぎり絵展	10月 1日(日)～10月15日(日)

博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)

企画展「蒲郡戦国年表」	7月15日(土)～ 9月 3日(日)
焼き物スタンプラリー	7月15日(土)～ 9月10日(日)
なつかしのオモチャコーナー	7月15日(土)～ 9月 3日(日)
夏休み子ども工作スペース	7月15日(土)～ 9月 3日(日)
版木で昔の教科書をつくろう	8月22日(火)～ 8月27日(日)
S L写真とミニチュア機関車展	9月16日(土)～ 9月18日(月・祝)
大人のための考古学入門講座	9月23日(土・祝)
mikawa de 遊び100(S Lを守る会) プラレール走行	10月 9日(月・祝)
企画展「鉄道グッズ」展	10月14日(土)～11月26日(日)